

租税史料室年報（令和4年度）

1 租税史料室の概要

租税史料室は、昭和43年に「全国に散在する租税に関する貴重な資料を確保し、かつ、その集中管理を行ない租税制度の研究等に資する」ことを目的に設立されました。

収集する史料は、税務行政に関する文書だけでなく、図書、写真、器具など人々の暮らしと関わりのある税の史料など多岐にわたります。

収集した史料は、展示室での展示や閲覧を通じ広く公開するとともに、租税史料室で研究の資としています。

2 活動状況

(1) 史料の収集

令和4年度は、個人・法人の方からの寄贈を中心に、約900点の史料を収集しました。

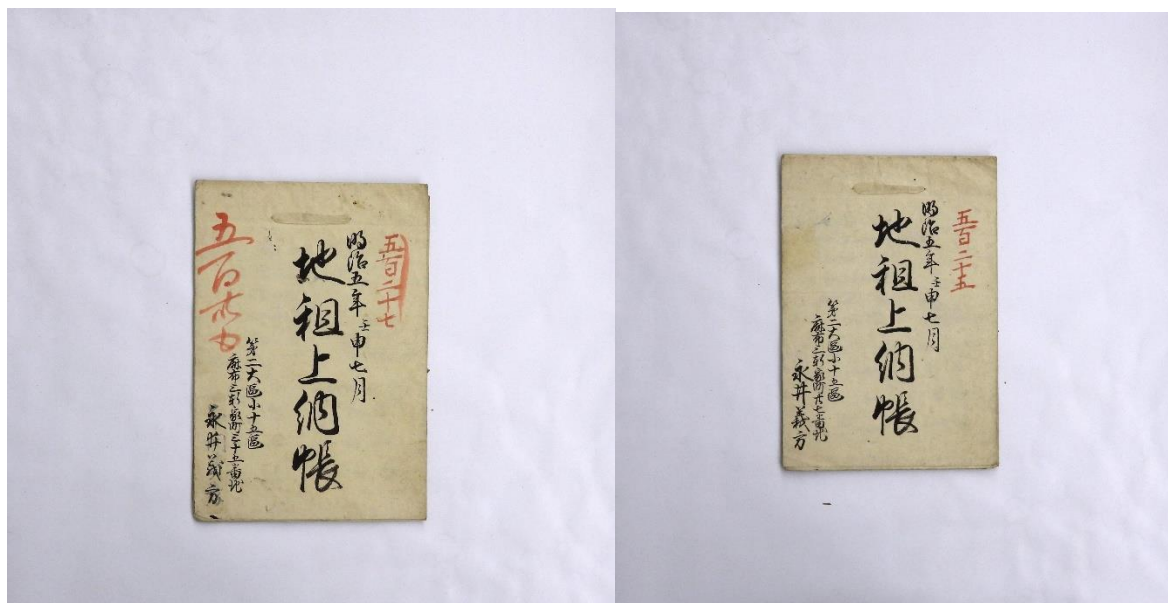
なお、寄贈された史料の中から、特に貴重と認められる史料を寄贈していただいた方に国税庁長官感謝状を贈呈して感謝の意を表しました。

【主な収集史料】

① 地租上納帳

「地租上納帳」（地租を徴収する戸長の徴収簿）は、東京府下の麻布三番町の明治5年のもので、新しい税制が試みられた年のものになります。

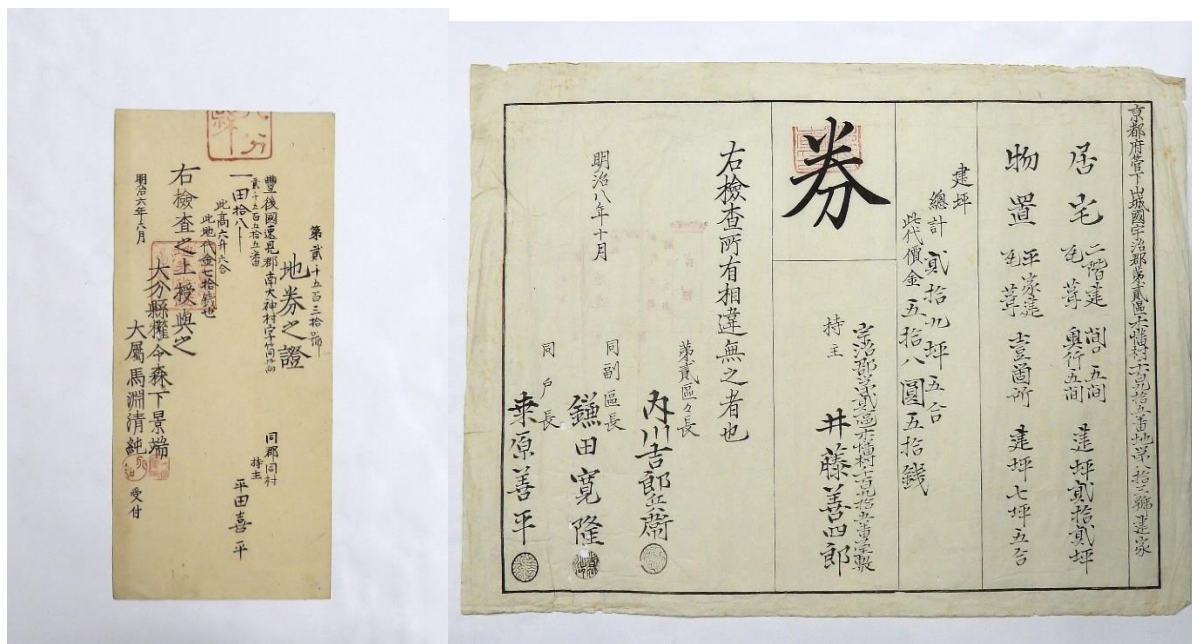
また、同所は、今のテレビ朝日通りから西麻布の辺りであり、東京の中心に近い場所になりますが、関東大震災や東京大空襲の影響を受けた地域のため、このような場所の地租関係史料は珍しく、希少性が高いものになります。



② 壬申地券、家券

壬申地券とは、明治6年の地租改正よりも前の土地税制に関わる権利書になります。

家券は、家屋に係る権利証で、家屋敷の取引を担保するため、限られた地域で数年しか発行されていない権利証になります。京都等の一部の地域でしか発見されておらず、本券も京都府のものになりますが、収集価値は高く、希少性が高いものになります。



(左：壬申地券、右：家券)

(2) 所蔵史料の公開

イ 展示（常設展示、特別展示）

租税史料室では、税に関する貴重な歴史的資料（史料）により、どなたでも気軽に税の歴史に触れていただけるよう、①常設展示及び②期間を定めた特別展示を行っております。

常設展示では、「国税の歴史」をテーマに江戸時代から現代までの史料を展示しています。

また、特別展示では、平成12年から毎年テーマを決めて一定期間展示を行っております。

令和3年11月から令和4年10月までは、「庁舎にみる税務署の歴史」をテーマに開催し、令和4年11月から令和5年10月までは、「近代の都市と税」をテーマに開催しています。

ロ 閲覧

収集した史料は、管理システムに登録し、一般の方々の閲覧の用に供しています。

(3) 研究事務

所蔵史料を研究し、「租税史料叢書」等の史料集の編纂、研究会の開催、講演などの研究業務を行っています。

(4) ホームページを利用した情報発信

租税史料室では、次のような租税史料に関する情報を発信しています。

イ 租税史料ライブラリー

江戸時代から昭和初期までの租税史の流れに沿った史料100点の画像に簡単な説明を加えて解説しています。

ロ NETWORK 租税史料

租税史料室が所蔵している租税に関する史料について、その史料が持つ歴史的な背景など

を交えてコラム形式でご紹介しています。

令和4年度は、「明治初期における興行税の取締役」を始め、5タイトルを追加しました。

ハ 税の歴史クイズ

歴史に見る社会と税の関わりをクイズ形式で紹介しています。

令和4年度は、「織物消費税で非課税とされた織物」を始め、6タイトルを追加しました。

ニ 常設展示・特別展示

租税史料室で行っている常設展示と特別展示について、現在及び過去の特別展を紹介しています。

ホ インターネット番組（Web-TAX-TV）

租税史料室並びに特別展示について、分かりやすく紹介するために、紹介映像を作成・提供しています。

令和4年度は、特別展示「近代の都市と税」についての映像を追加しました。

【参考】作成・提供番組

配 信 日	番 組 名
平成28年3月	税に関する貴重な資料を公開しています（租税史料室）
令和4年1月	令和3年度特別展示「庁舎にみる税務署の歴史」
令和5年1月	令和4年度特別展示「近代の都市と税」